

特集

平成30年度当初予算成立

だれもが住み続けたい 訪れたいと思える だれもが笑顔になる鳴門づくり

3月に開かれた市議会第1回定例会で、平成30年度当初予算が決まりました。ここでは、予算の概要のほか、重点的に取り組む事業を、それぞれのテーマごとに分けて紹介します。

問 市役所財政課 ☎088・684・1221



平成30年度 一般会計当初予算

241億7,000万円(前年度比 12億2,000万円増)

未来志向の予算編成



本

市の財政状況は、歳入において人口の減少や地価評価額の上昇などにより、歳入の根幹をなす市税の減少が見込まれている一方で、歳出面では、扶助費の増大や公債費の高止まりに加え、防災拠点となる主要な公施設の耐震化といった緊急性の高い施策の対応に迫られていることから、依然として楽観視できる状態ではありません。

こうした状況の中、本市では、「鳴門市スーパー改革プラン2020」に基づき、歳入の確保や歳出削減に努め、より効果的かつ効果的な財政運営を目指して取り組んでおり、計画目標額を上回る成果を上げています。

また、本市の将来都市像を実現するためには行政内部の改革だけではなく、本市経済の活性化を両輪と捉え、定住人口の確保や交流人口の増加、雇用の確保、産業の振興など、地域活性化施策の推進が不可欠であると考え、「鳴門市総合戦略」をもとに各種施策を積極的に展開しています。

特に、平成30年度は、「第九」アジア初演100周年という大きな節目の年であり、この記念事業の成功に全力を尽くすとともに、これを契機として、更なる市政発展に資する事業に対しては、積極的に投資を行うなど、「だれもが住み続けたい、訪れたいと思える、だれもが笑顔になる鳴門づくり」に取り組む、未来志向のまちづくりを着実に推進するための予算を編成しました。

入るお金

歳入

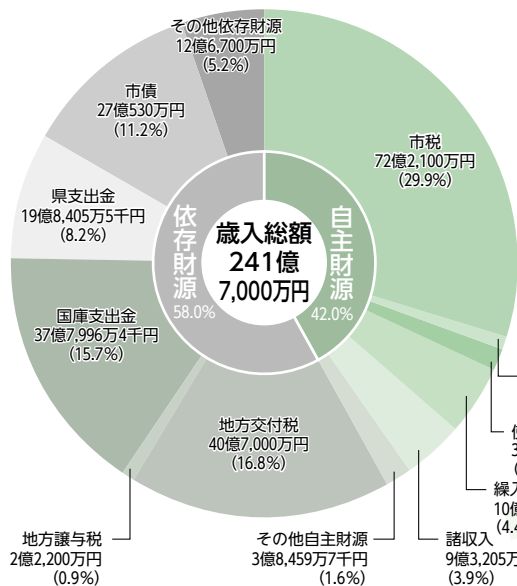
一般会計

市税は、固定資産税の減などにより、72億2100万円(前年度比0.4%減)を計上しました。

地方交付税は、国が定めた地方財政計画を基本とした見込み額、40億7千万円(前年度比0.2%増)を計上しました。

国庫支出金は、第一中学校校舎改築工事に伴う校舎建設事業補助金の増などにより、37億7996万4千円(前年度比3.8%増)を計上しました。

県支出金は、耐震改修等事業費補助金の増などにより、



- ▶ 地方交付税 … 財政力に応じて国から交付されるお金
- ▶ 国庫支出金 … 国が使途を特定して交付する資金
- ▶ 県支出金 … 県が使途を特定して交付する資金
- ▶ 市債 … 建設事業などに充てるための借入金

19億8405万5千円(前年度比10.1%増)を計上しました。市債は、第一中学校校舎改築工事に伴う教育債の増などにより、27億5300万円(前年度比23.4%増)を計上しました。

なお、地方消費税の引き上げに係る地方消費税交付金の増分(社会保障財源化分)は、扶助費などに充当しています。※詳細は市公式ウェブサイトの「市政の情報・市の財政・予算について」に掲載。

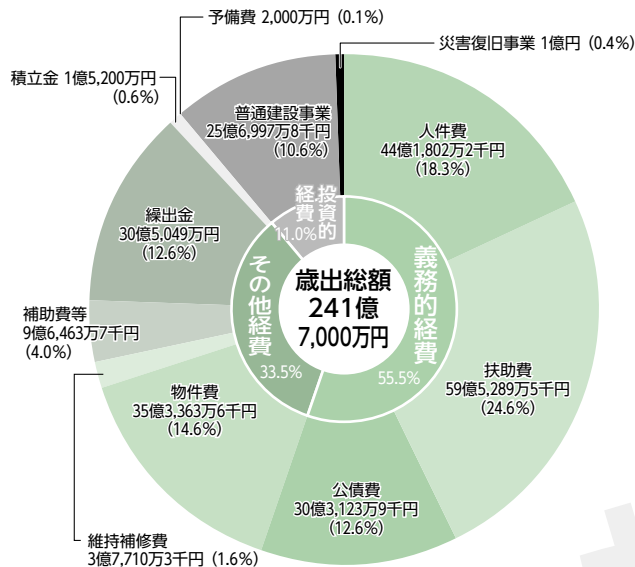
使うお金

歳出

一般会計

人件費と扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、扶助費の増により、134億215万6千円(前年度比0.6%増)となっています。物件費は、鳴門市給食センター運営費の増などにより、35億3363万6千円(前年度比7.8%増)となっています。

補助費等は、ふるさと納税寄附金推進事業費の増などにより、9億6463万7千円(前年度比1.5%増)となっています。



- ▶ 扶助費 … 生活保護費や子ども・高齢者・障がい者の支援に必要な費用
- ▶ 公債費 … 市債の返済に充てる元金と利子
- ▶ 義務的経費 … 人件費や借金返済など、必ず支払わなければならないお金
- ▶ 補助費等 … 他の地方公共団体や民間に対して交付される現金的給付に係る経費
- ▶ 投資的経費 … 道路整備や施設建設、災害復旧などに使うお金

特別会計・企業会計予算

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、企業会計は事業収入により運営する会計です。

※千円以下切り捨て。()内は前年度比。

特別会計(歳入・歳出)

- ◆ 国民健康保険事業 75億7484万円(20.6%減)
- ◆ 後期高齢者医療 8億6287万円(2.0%増)
- ◆ 介護保険事業 64億1667万円(4.1%増)
- ◆ 公共下水道事業 9億5019万円(微減)
- ◆ 公設地方卸売市場事業 2252万円(7.3%増)
- ◆ 住宅新築資金等貸付事業 271万円(増減なし)
- ◆ 光熱水費等支出 6億2150万円(3.9%増)
- ◆ 給与費等管理 49億737万円(1.8%減)
- ◆ 公債費管理 33億6573万円(0.6%減)

企業会計(歳出のみ)

- ◆ 水道事業 23億6153万円(10.2%増)
- ◆ モーターボート競走事業 294億3403万円(41.1%減)

うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり



4項目の「まちづくり」がテーマ
平成30年度当初予算

重点事業

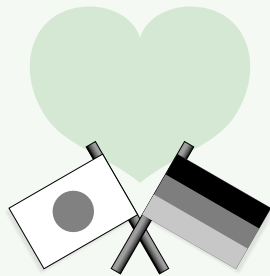
アジア初演「なると第九」ブランド化推進事業 … 5,097万円

1918年にベートーヴェン「第九」交響曲がアジアで初めて演奏されてから、100周年となる年を迎え、その集大成として初演の日である6月1日を中心に「第九」アジア初演100周年記念事業を盛大に開催します。



ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業 … 1,137万円

日本とドイツが戦争の壁を乗り越え互いに尊重しあうという類いまれな歴史的交流の活動記録について、徳島県、ドイツ・ニーダーザクセン州、リューネブルク市と共同でユネスコ「世界の記憶」への登録に向けた、取り組みを進めます。



「ドイツ兵の慰霊碑」保存修復事業 …215万円

同碑は、板東俘虜収容所生活中に事故や病気により命を落とした同胞を慰霊する碑として、約100年前の1919年にドイツ兵捕虜により建立されました。市では貴重な文化遺産を保存し、次世代に守り伝えるため、風化が進む慰霊碑の保存修復を行います。



市内企業おしごと体験事業 … 50万円

児童・生徒の勤労観の醸成を目的として実施する起業体験や地元企業見学、インターンシップなどを開催。また、各学校との連携内容を取りまとめ、企業紹介も織り交ぜた冊子を発行し、児童・生徒などに配布します。



農作業無料職業紹介所運営協議会負担金 … 55万円

J A徳島北、J A板野郡の管内で、農業に関心のある地域の住民を求人農家に紹介し、人手不足の解消と新たな担い手の発掘を図ります。



徳島東部地域DMO広域観光推進事業 … 200万円

徳島東部に位置する15市町村および県内の民間事業者が連携して、圏域における観光地域づくりを担う法人である「DMO」を設立し、官民一体となった広域での観光振興を進めます。



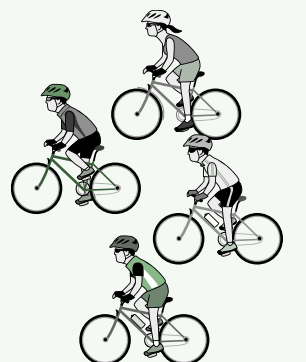
四国のゲートウェイ化推進事業 …8,000万円

本市を名実ともに四国の玄関口とするために、四国のグルメ、お祭りを集めたイベント、イルミネーションイベントの実施、CM制作・放映、拠点施設整備の検討を行います。



ASAサイクリングツーリズム推進事業 … 6,800万円

サイクリングマップの制作や鳴門、南あわじ間の自転車輸送、CM制作などを実施し、サイクリストの誘客を進めます。また、まちづくりアドバイザーに2名の方を委嘱し、防災や健康づくりなどの分野で専門的見地から市の施策にアドバイスをいただきます。



すくすく のびのび

ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり



新生児聴覚検査助成事業 … 239万円

聴覚障がいや早期に発見し、早期療育を図るために、新生児聴覚スクリーニング検査費用を公費負担します。



いきいき保育環境 なるっと補助金 … 1,775万円

保護者の「子育てと仕事の両立」をこれまで以上にサポートするため、私立保育施設の保育環境の整備促進を目的とした同補助金について、メニューの拡充を行い、より一層の保育環境の改善を図ります。



鳴門市公立保育所再編計画策定審議会の設置 … 21万円

公立保育所について、新たに審議を設置し、有識者や関係団体の方、子育て当事者などから広くご意見をお伺いし、今後のあり方の検討を行います。



第2次子ども・子育て支援事業計画策定事業 … 200万円

子ども・子育て支援新制度の計画的な推進を図るため、「第2次子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて子育て支援などに関するニーズ調査を実施します。



ICT活用教育推進事業 … 45万円

気軽にプログラミングの仕組みを体験できる機会を児童などに提供し、「プログラミング」に興味を持ってもらい、その後の学習を通して「思考」を育み、地域や日常生活などの課題を自力で解決できる力を持った人材を育成します。



特別支援教育用タブレット整備事業 … 1,010万円

特別支援教室では、個別指導を行うことが多いことから、タブレット型コンピュータを各教室に配備し、特別支援教育の充実を目指します。



学校施設の耐震化事業 … 14億841万円

※同3月補正予算額を含む。

第一中学校の第3期工事を実施するほか、小学校10校の校舎および中学校3校の校舎などの非構造部材の耐震化を行います。



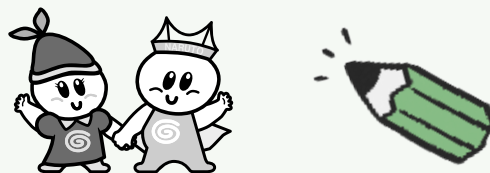
学校施設の大規模改修 … 1億5,473万円

※同3月補正予算額を含む。

学校施設のトイレの環境改善を図るため、小学校3校の改修工事、小中学校各1校の改修設計を行います。また、新たに幼稚園空調設備整備事業を開始し、今年度は保育室などへの空調設備設置に向けた設計を行います。



しっかり 安心・快適 住み良いまちづくり



災害時妊産婦乳児救護所資機材整備事業 … 35万円

大規模災害時に妊産婦・乳児救護所に対する支援を充実するため、運営に必要な分娩セットなどを整備します。



木造住宅耐震化促進事業 … 1,650万円

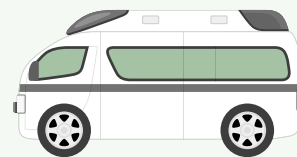
木造住宅耐震改修工事に係る負担の軽減を図るため、補助金額の上限を80万円から110万円に引き上げ、市民への支援を手厚くすることで市内の木造住宅の耐震化を促進します。
※13ページに関連記事。



消防機能強化事業 … 7,290万円

消防団詰所で耐震基準を満たしていない建物を対象に、耐震化を進め、耐震基準を満たしている消防団詰所については、長寿命化および必要な修繕を年次計画的に実施します。

また、救急体制の充実を図るため、高規格救急自動車を更新します。



図書館耐震・施設改修事業 … 3億930万円

図書館の耐震化工事にあわせ、来館者専用エレベーターの新設、トイレのリニューアルや照明設備の改善など図書館機能の充実と、施設の多機能化を図るための改修工事を実施します。工事期間中は仮設図書館を開設し、業務を継続します。
※21ページに関連記事。



平成30年度当初予算

ものの、介護・育児・医療費(自立支援給付費や私立保育所運営費など)や生活費(鳴門市給食センター運営費など)などが伸びています。中でも不動産の購入代(第一中学校校舎改築事業など)が大きく増加しており、昨年度に引き続いて貯金や借入金により支出を賅っている状況であることが分かります。



支出

食費 [人件費]	88万円 (90万円)
介護・育児・医療費 [扶助費]	119万円 (115万円)
生活費 [物件費、補助費など]	90万円 (85万円)
自宅の修理代 [維持補修費、災害復旧費]	10万円 (10万円)
不動産の購入代 [普通建設事業費]	51万円 (35万円)
子どもへの仕送り [他会計への繰出金など]	61万円 (61万円)
借入金の返済 [公債費]	61万円 (61万円)
貯金 [積立金]	3万円 (2万円)
合計	483万円 (459万円)

公民館耐震化事業 及びリニューアル修繕事業 … 5,099万円

斎田・大津中央・堀江公民館について、順次、耐震化を進める計画としており、昨年度実施した斎田公民館に続き、大津中央公民館の耐震改修工事を行います。

また、耐震基準を満たしている大型公民館についても、リニューアル計画に基づき、長寿命化や利用者の快適性を高める環境整備を行います。



きらきら わくわく

おおきく躍動 みんなで創る まちづくり



市役所本庁舎整備事業 … 824万円

基本計画の策定に当たり、学識経験者などの専門的見地から意見を仰ぐため、外部有識者による会議を設置します。また、施設の現状調査業務にも着手し、建物を使う人に合わせる「利用者起点」の空間づくりを念頭に、庁舎が抱える課題への対応策について分析・整理を行います。



公共施設等総合管理の検討 … 171万円

市が所有する集会所や公民館などの公共施設の現状、今後の管理方針を示す個別施設計画の策定に向けて、施設コストの算定や分析を行います。



コンビニ証明書交付サービス … 4,802万円

マイナンバーカードを利用して、住民票などの証明書をコンビニエンスストアで受け取ることができる「コンビニ証明書交付サービス」を導入し、市民サービスの向上を図ります。



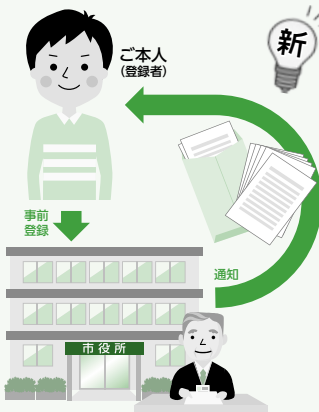
ふるさと納税寄附金等推進事業 … 1億5,200万円

今年度の目標額を約3億円とし、受付のポータルサイトを増やすとともに、記念品のさらなる拡充に努めます。また、ガバメントクラウドファンディングによる使途を明確化した寄附の募集も実施します。



事前登録型本人通知制度導入事業 … 450万円

住民票の写しや戸籍謄本などの証明書を本人の代理人や第三者に交付した場合に、事前に登録されている方に対して交付の事実を郵送でお知らせし、不正請求の抑止および不正取得による個人の権利の侵害を防止します。



家計簿で見る

平成30年度の本市の予算を家計に置き換えてみました。すると、家計の総額は昨年度より24万円アップの483万円になります。給料は同額、借入金は不動産の購入代の増に伴って増額となっています。

また、収入総額のうち、大部分を親からの仕送りが占めていることが見て取れます。

支出を見ると、食費を切り詰めて2万円減らした

収入

給料 [市税、地方譲与税]	149万円 (149万円)
親からの仕送り [国・県支出金、地方交付税など]	222万円 (216万円)
家業収入 [使用料・手数料など]	11万円 (11万円)
家賃収入 [財産収入、貸付金収入など]	26万円 (21万円)
貯金の取り崩しなど [繰入金]	21万円 (18万円)
借入金 [市債]	54万円 (44万円)
合計	483万円 (459万円)

平成30年度一般会計当初予算を5千分の1に換算して表記しています。※()内は前年度の額。